平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月8日

上場会社名　ニチモウ株式会社　　上場取引所　東
コード番号　8091　URL　http://www.nichimo.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 小池　由紀夫
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員財務部長　(氏名) 八下田　良知　TEL 03-3458-3530

四半期報告書提出予定日　平成25年2月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	80,149	7.4	1,404	15.0	1,397	15.9	1,157	13.1
24年3月期第3四半期	74,590	10.1	1,221	16.5	1,204	25.0	1,023	13.5

(注)包括利益　25年3月期第3四半期　1,074百万円　(30.8%)　24年3月期第3四半期　821百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	34.00	33.64
24年3月期第3四半期	30.10	29.82

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	62,162	13,788	22.1
24年3月期	52,516	12,873	24.4

(参考) 自己資本　25年3月期第3四半期　13,743百万円　24年3月期　12,829百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	―	―	5.00	5.00
25年3月期	―	―	―		
25年3月期(予想)				5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	7.2	1,100	10.3	800	△10.6	600	△6.5	17.65

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注)第1四半期連結会計期間より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積もりの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は添付資料3ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧下さい。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	37,874,000 株	24年3月期	37,874,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	3,805,763 株	24年3月期	3,890,517 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	34,030,683 株	24年3月期3Q	33,986,109 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続きは終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)2ページ「1. 当四半期の連結業績に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧下さい。

○目　次

１．当四半期決算に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・・２

(1)　連結経営成績に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・２
(2)　連結財政状態に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・３
(3)　連結業績予想に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・３

２．サマリー情報（その他）に関する事項・・・・・・・・・・・・・３

(1)　当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動・・・・・３
(2)　四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用・・・・・３
(3)　会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示・・・・３
(4)　追加情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３

３．四半期連結財務諸表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４

(1)　四半期連結貸借対照表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４
(2)　四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書・・・・６
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間・・・・・・・・・・・・・・・・・６
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間・・・・・・・・・・・・・・・・・７
(3)　継続企業の前提に関する注記・・・・・・・・・・・・・・・・８
(4)　セグメント情報等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８
(5)　株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記・・・・・・９
(6)　重要な後発事象・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９

１．当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災後の復興需要を背景に回復基調にあるものの、欧州や中国など海外経済の減速により輸出や生産が減少し、依然として厳しい状況で推移いたしました。しかしながら、12月の政権交代により株価の上昇や円安の流れとなり景気回復への兆しも出始めてまいりました。

当社グループの事業基盤であります水産、水産加工・流通、食品の各分野におきましては、引き続き消費者の節約志向、低価格志向の影響により厳しい状況下で推移いたしました。

こうした情勢のもと、当社グループの当第３四半期連結累計期間における売上高は801億49百万円（前年同期比55億59百万円の増加）、営業利益は14億４百万円（前年同期比１億83百万円の増加）、経常利益は13億97百万円（前年同期比１億92百万円の増加）、四半期純利益は11億57百万円（前年同期比１億34百万円の増加）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①食品事業

食品事業におきましては、カニや助子等につきましては売上高・営業利益ともに前年同期を上回りましたが、すり身はすり身製造子会社における原料高騰によるコスト上昇の影響を受け、また、北方凍魚は養殖チリギンザケの供給量過剰による影響を大きく受け、それぞれ売上高・セグメント利益ともに前年同期を下回りました。

この結果、売上高は503億33百万円（前年同期比36億８百万円の増加）セグメント利益は８億36百万円（前年同期比３億64百万円の減少）となりました。

②海洋事業

海洋事業におきましては、東日本大震災の影響が未だ残るものの、漁具資材の販売が伸長し、また、米国内における陸上ネットの販売も伸びたことなどにより、売上高・セグメント利益ともに前年同期を上回りました。

この結果、売上高は143億39百万円（前年同期比19億72百万円の増加）セグメント利益は９億65百万円（前年同期比４億50百万円の増加）となりました。

③機械事業

機械事業におきましては、練り製品業界や惣菜調理業界からの新工場向け製造プラントの一括受注などもありましたが、セグメント利益は前年同期を下回りました。

この結果、売上高は56億99百万円（前年同期比１百万円の減少）セグメント利益は２億32百万円（前年同期比69百万円の減少）となりました。

④資材事業

資材事業におきましては、住宅用建材や中国、韓国向け輸出商材などが堅調に推移し、売上高・セグメント利益ともに前年同期を上回りました。

この結果、売上高は82億25百万円（前年同期比２億58百万円の増加）セグメント利益は２億19百万円（前年同期比49百万円の増加）となりました。

⑤バイオティックス事業

バイオティックス事業では、大手健康食品向けの原料供給や薬局向けＯＥＭ商品ならびに医師向けサプリメントの販売が堅調に推移し、売上高・セグメント利益ともに前年同期を上回りました。

この結果、売上高は２億10百万円（前年同期比28百万円の増加）セグメント利益は13百万円（前年同期はセグメント損失４百万円）となりました。

⑥物流事業

物流事業におきましては、前期不採算であった配送センターの整理等により、売上高は12億50百万円（前年同期比２億99百万円の減少）セグメント損失は１億22百万円（前年同期比85百万円の損失の減少）となりました。

⑦その他

その他の事業といたしましては、不動産の賃貸、生命保険および損害保険の代理業を行っており、売上高は91百万円（前年同期比７百万円の減少）セグメント利益は53百万円（前年同期比７百万円の増加）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(総資産)

当第３四半期連結会計期間末における総資産は621億62百万円（前連結会計年度比18.3%増）となりました。

総資産の増加は、主としてたな卸資産及び前渡金の増加によるものであります。

(総負債)

当第３四半期連結会計期間末における総負債は483億74百万円（前連結会計年度比22.0%増）となりました。

総負債の増加は、主として仕入債務及び長期借入金の増加によるものであります。

(純資産)

当第３四半期連結会計期間末における純資産は137億88百万円（前連結会計年度比7.1%増）となりました。

純資産の増加は、主として利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年３月期の業績予想につきましては、前回公表（平成24年５月11日）いたしました連結予想に変更はありません。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び一部の国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第３四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

(4) 追加情報

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
(1)四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,948	5,395
受取手形及び売掛金	14,298	20,947
商品及び製品	14,057	15,868
仕掛品	545	630
原材料及び貯蔵品	1,786	1,569
前渡金	2,802	3,132
繰延税金資産	9	13
その他	409	328
貸倒引当金	△121	△111
流動資産合計	38,736	47,773
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,544	6,671
減価償却累計額及び減損損失累計額	△4,844	△4,966
建物及び構築物（純額）	1,699	1,705
機械装置及び運搬具	4,524	4,631
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,272	△3,480
機械装置及び運搬具（純額）	1,251	1,151
工具、器具及び備品	609	632
減価償却累計額及び減損損失累計額	△505	△530
工具、器具及び備品（純額）	103	101
土地	2,246	2,222
建設仮勘定	―	4
有形固定資産合計	5,301	5,185
無形固定資産		
のれん	7	5
その他	368	393
無形固定資産合計	376	398
投資その他の資産		
投資有価証券	6,580	6,607
長期貸付金	456	938
破産更生債権等	1,535	1,436
長期預金	300	300
繰延税金資産	―	219
その他	710	711
貸倒引当金	△1,519	△1,435
投資損失引当金	△13	△13
投資その他の資産合計	8,050	8,763
固定資産合計	13,727	14,348
繰延資産		
社債発行費	52	41
繰延資産合計	52	41
資産合計	52,516	62,162

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年３月31日)	当第３四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,047	13,954
短期借入金	16,224	20,327
1年内償還予定の社債	125	62
1年内返済予定の長期借入金	1,186	1,116
未払法人税等	93	260
繰延税金負債	―	10
賞与引当金	396	136
役員賞与引当金	20	―
事業構造改善引当金	143	143
その他	1,528	1,537
流動負債合計	30,764	37,548
固定負債		
社債	3,500	3,500
長期借入金	4,329	6,146
長期未払金	69	61
繰延税金負債	100	249
退職給付引当金	459	503
役員退職慰労引当金	107	124
負ののれん	72	39
その他	239	199
固定負債合計	8,878	10,825
負債合計	39,643	48,374
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,411	4,411
資本剰余金	22	22
利益剰余金	9,802	10,775
自己株式	△1,105	△1,080
株主資本合計	13,131	14,128
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	543	425
繰延ヘッジ損益	15	16
為替換算調整勘定	△861	△826
その他の包括利益累計額合計	△302	△384
新株予約権	44	44
少数株主持分	0	0
純資産合計	12,873	13,788
負債純資産合計	52,516	62,162

(2)四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第３四半期連結累計期間 (自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日)	当第３四半期連結累計期間 (自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日)
売上高	74,590	80,149
売上原価	68,054	73,453
売上総利益	6,535	6,696
販売費及び一般管理費	5,314	5,291
営業利益	1,221	1,404
営業外収益		
受取利息	58	49
受取配当金	123	88
持分法による投資利益	134	195
貸倒引当金戻入額	－	0
その他	158	151
営業外収益合計	474	485
営業外費用		
支払利息	428	428
貸倒引当金繰入額	0	－
その他	61	64
営業外費用合計	491	492
経常利益	1,204	1,397
特別利益		
固定資産売却益	－	0
土地売却益	－	11
関係会社株式売却益	－	4
補助金収入	－	40
受取保険金	－	68
特別利益合計	－	125
特別損失		
固定資産売却損	0	－
固定資産除却損	1	2
投資有価証券評価損	42	43
ゴルフ会員権評価損	－	5
損害賠償金	－	68
特別損失合計	45	120
税金等調整前四半期純利益	1,159	1,402
法人税、住民税及び事業税	92	245
法人税等調整額	43	△0
法人税等合計	136	245
少数株主損益調整前四半期純利益	1,023	1,157
少数株主利益	0	0
四半期純利益	1,023	1,157

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	1,023	1,157
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△91	△114
繰延ヘッジ損益	△11	0
為替換算調整勘定	△85	35
持分法適用会社に対する持分相当額	△12	△3
その他の包括利益合計	△201	△82
四半期包括利益	821	1,074
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	821	1,074
少数株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等
【セグメント情報】
Ⅰ 前第３四半期連結累計期間（自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日）
１ 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント							その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	食品事業	海洋事業	機械事業	資材事業	バイオティックス事業	物流事業	計				
売上高											
外部顧客への売上高	46,724	12,366	5,700	7,967	182	1,549	74,490	99	74,590	－	74,590
セグメント間の内部売上高又は振替高	34	21	－	－	－	－	56	－	56	△56	－
計	46,759	12,388	5,700	7,967	182	1,549	74,547	99	74,646	△56	74,590
セグメント利益又は損失（△）	1,201	515	302	170	△4	△207	1,976	45	2,022	△801	1,221

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に不動産賃貸業を営んでおります。
2 セグメント利益の調整額△801百万円は、各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3 セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第３四半期連結累計期間当連結会計年度（自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日）
１ 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント							その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	食品事業	海洋事業	機械事業	資材事業	バイオティックス事業	物流事業	計				
売上高											
外部顧客への売上高	50,333	14,339	5,699	8,225	210	1,250	80,057	91	80,149	－	80,149
セグメント間の内部売上高又は振替高	85	281	76	195	－	－	639	－	639	△639	－
計	50,418	14,621	5,775	8,420	210	1,250	80,697	91	80,789	△639	80,149
セグメント利益又は損失（△）	836	965	232	219	13	△122	2,145	53	2,198	△793	1,404

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に不動産賃貸業を営んでおります。
2 セグメント利益の調整額△793百万円は、各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3 セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

当社は、平成25年1月25日開催の取締役会において、水産会社であるSAN ARAWA S.A.（本社：アルゼンチン　ウシュワイア市）の株式を取得し、子会社化することを決議いたしました。

1　株式取得の理由

SAN ARAWA S.A.はアルゼンチン海域において、すり身加工船とフィーレ加工船の２隻を運航し、すり身の製造・販売ならびに欧米を中心とするフィーレブロックの販売を行う水産会社であります。

当社は、長年にわたり同社が生産するすり身を購入してまいりましたが、差別化商材であるミナミダラやホキを原料とするすり身のより一層の安定供給を確保するため、同社が新たに発行する株式を100%取得し、同社を子会社化することといたしました。

2　子会社化する会社の名称、事業内容、規模

①名　　称　　SAN ARAWA S.A.

②事業内容　　水産業

③規　　模（平成24年３月期）

資 本 金　　13,624千アルゼンチンペソ

売 上 高　　103,441千アルゼンチンペソ

純 資 産　　25,813千アルゼンチンペソ

総 資 産　　269,049千アルゼンチンペソ

3　株式取得の時期

平成25年２月（予定）

4　取得する株式の数、取得価額及び取得後の持分比率

①取得する株式の数　　33,875,759株

②取得価額　　2,300百万円（付随費用を除いた概算額）

③取得後の持分比率　　80.0%